

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

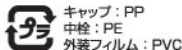
- (1) 過敏症(頻度不明)：過敏症状^(注)
- (2) 適用部位(頻度不明)：局所刺激、発赤、灼熱感等^(注)
(注)このような場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

- (1) 必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
- (2) 刺激作用を有するので、長期間又は同一部位に反復使用しないこと。特に、湿布等による長期間にわたる皮膚との接触を避けること。
- (3) 眼又は眼の周囲に使用しないこと。
- (4) 眼に入らないように注意すること。入った場合には結膜・角膜に炎症を起こすことがあるので、水洗後、直ちに専門医の処置を受けること。
- (5) 原液又は濃厚液の蒸気を吸入すると、呼吸器等の粘膜を刺激し、喉頭癒れん、肺・気管支に障害を起こすことがあるので注意すること。

【取扱い上の注意】

使用後速やかに閉栓し、30℃以下(できれば冷所)で保存すること。アンモニアの揮散に注意すること。



(0803)S

鎮痒剤・去痰剤
日本薬局方 アンモニア水

アンモニア水 「ヤマゼン」M

Ammonia Water "Yamazén" M



製造販売元
山善製薬株式会社
大阪市中央区道修町2丁目2番4号

2008年3月改訂

日本標準商品分類番号
872232 872643

貯法等：30℃以下で保存。

気密容器

「取扱い上の注意」の項参照

承認番号 16100AMZ01615000
薬価基準収載
販売開始 1989年5月
再評価結果 1989年3月

【組成・性状】

本品1mL中、アンモニア(NH₃:17.03)100mg含有(10%V/V)。

本品は無色透明の液で、特異な強い刺激性のにおいがある。本品はアルカリ性である。

比重 d_{20}^{20} ：0.95～0.96

【効能・効果】

- (経口) アンモニア・ウイキョウ精の調剤原料に用いる。
(外用) 虫さされ。

【用法・用量】

- (経口) アンモニア・ウイキョウ精の調剤原料に用いる。
(外用) 虫さされには、2～10倍に希釈し塗布する。

製造番号

使用期限

GS1-RSS



JAN

4 987296 217151